

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 37

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	桜の里親づくり事業		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	④ その他		<4> 継続評価 新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり	<6> 担当部(局)	建設水道部
	中項目	5-3 みんなの暮らしを支える生活基盤整備	<7> 担当所属	道路課
	小項目	5-3-3 道路	<8> 担当係等	思川桜管理係
	施策	市民との協働による道路環境づくりの促進		
<9> 根拠法令・計画等		<10> 関連・類似事業	桜堤整備事業	
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	8 款 3 項 1 目
<13> 実施期間	平成13 年度 ~	年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	直営	「その他」の場合 ()		

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	桜の里親制度により里親を募集し、思川桜を思川堤防沿い等に植樹する。								
目的	<17> 事業・業務の目的	思川をより一層魅力ある川とするため、住民参加による美しいまちの環境づくりを目的としている。							
	<18> 事業・業務の対象	思川の景観、里親制度により植樹する里親。							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	桜の里親記念植樹祭の開催および、桜の里親の募集(渡良瀬地区 50本)							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		植樹祭の開催	回	2	3	1	1	100.0%	
	里親の植樹数	本	69	75	50	50	100.0%		
成果	<21> 事業・業務の成果	里親による桜の本数を増やし、思川をより一層魅力的な環境にする。							
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
	桜堤の延長	m	11,440	11,440	11,940	11,940	100.0%		
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度			
			千円	計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		事業費等	千円	2,185	1,262	1,564	1,230	78.6%	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
			その他	千円					
		一般財源	千円	2,185	1,262	1,564	1,230	78.6%	
人件費	千円	1,439	1,439	1,430	1,430	100.0%			
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.2	7,195 × 0.2	7,146 × 0.2	7,146 × 0.2				
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×				

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	3.減少している
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	2.検討を要する
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画) 施策への貢献度は大きいのか?	2.中位
<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?		2.向上の余地はない	
公平性	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
	<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	2.検討を要する	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)	2.改善の余地はある	理由	平成13年度からの事業であるため、思川筋も植樹可能箇所が少なくなってきた。加えて、市街地・集落などから離れているため、里親の希望者が減ってきている状況です。また、桜堤の延長が増加するため、河川占用箇所の除草や樹木等の管理費が増加している状況です。

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	事業の課題については、思川筋は植樹可能箇所が残り少なくなってきた。河川以外箇所の植樹場所の選定など事業の改善を図る。また、河川占用箇所の除草や樹木等の管理費が増加しており、今後の方針としては、里親が集まる魅力的な場所の選定等を行うとともに、維持管理については、計画的な樹木の管理、除草についても適正化・効率化を図り、維持管理業務委託の新たな体制づくりを行う。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 思川筋の植樹可能箇所が少なくなってきた。河川以外の植樹箇所の選定などの事業の改善を図ることにより、里親の増加の余地がある。
事業の方向性	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 河川占用箇所の除草や樹木等の管理費が増加しており、維持管理業務が効率的の出来る体制づくりを行う。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	里親が集まる魅力的な場所の選定を行い、思川桜の植樹を行うとともに、維持管理についても、適正化・効率化を図り、維持管理業務委託の新たな体制づくりの検討を行う。				
	<38> 活動・成果目標	里親による桜の本数を増やし、思川等をより一層魅力的な環境を作り、憩いの空間を拡大を図る。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
				千円	計画	計画
				2,994	3,620	
	事業費等	千円	1,564	2,190		
	人件費	千円	1,430	1,430		